

伝統と最新が融合された国
英国留学のススメ
イングランドで最も住みやすい街
チチェスターに住む
Queen's Anniversary Prize
受賞カレッジの実力

Discover
UK

フルタイムコース
英語とキャリアを同時に磨く
学生インタビュー
セラピストをめざして
自分のキャリアを積む

Welcome to UK



I'd like to wish you a very warm welcome to Chichester College. I'm really pleased that you're thinking of coming here to study and want to find out more about the services we offer. We have such a wide range of courses that I'm sure you will find the right subject and level for you. Whether you want to gain a qualification to go to university or to get the job of your dreams, we can help you achieve your goals. Our vision is to change lives through learning.

Chichester College is a great place to learn. We currently have 15,000 full and part-time students enrolled here. You can see what attracted them to Chichester College by coming to our next Open Evening at Chichester Campus or Brinsbury Campus.

Whether you are just leaving school, continuing to a higher level, returning to education or want to learn purely for fun, we have people who can talk to you about your needs and aspirations, and guide you through our excellent facilities. This is your opportunity to look around one of the most popular colleges in the country, talk to the tutors and see why our students chose to come to Chichester.

Our students tell me that what they like about Chichester College is that it's a really friendly place, where you are free to be yourself, and you feel that the moment you walk through the door. They say they feel stretched

and challenged but also really appreciate the additional support available.

Both our campuses are easy to get to, so you can be green and leave the car at home. The Chichester Campus is less than 5 minutes walk from the train and bus stations and only 5 minutes from the city centre. At the Brinsbury Campus there's a bus route that brings you to the door!

Facilities Open to the Public

Chichester College also has lots to offer the public: professional restaurants; a state-of-the-art Sports Centre; great value hair and beauty salons; high quality childcare and much more - the links on the left of this page will take you to them all.

I hope you find what you need on the website to help you decide which course to study. If you have any questions, get in touch with our Admissions team by ringing them on 01243 786321, email info@chichester.ac.uk or pop in to the Student Centre at either campus and speak to an adviser.

I look forward to meeting you and welcoming you to the college.



チチェスターカレッジ校長

Shelagh Legrave
Principal and Chief Executive

イギリスで最も大きな民間調査機関

Market & Opinion Research International

の最新の調査によると、イングランドで「住みたい街」の第3位にチチェスターが選ばれました。下記の文章はチチェスター紹介ホームページからの抜粋です。

Chichester - the third best place in England!

A study by the research company MORI ranks Chichester in the top three places to live in England. Mid Suffolk and Wealden were first and second. The survey rated areas according to appearance and the crucial importance of this visual quality in determining quality of life. The report concludes that these places have created environments in which people feel safe and comfortable, where they can flourish and to which they feel that they belong.

堂々第3位

イングランドで最も愛される町 チチェスターに住む

西暦43年にローマ人がこの土地を侵略し、要塞を建てたことがチチェスターの起源と言われています。当時の人々が住んでいたことを伺い知る事ができるローマンモザイク模様の遺跡がチチェスターの街から出土しています。3世紀頃に作られた都市を囲む城壁（City Wall）は今も、存在しています。

ローマ時代が終わり、5世紀から6世紀に掛けてサクソン人がこの土地に移り住みました。

そして、この頃、チチェスターの町の名前が付けられたと言われています。

10世紀の頃にはこの地域の重要なマーケットタウンとして、市場が開かれるようになり、13世紀には人口は2500人ほどになりました。

2000年の時を経て、チチェスターは26,000人の人口をもつ、ウエストサセックス州の州都となりました。12世紀から建設が始まった大聖堂、市内の中心に立つマーケットクロスや、城壁跡など、古き良き英国の雰囲気を保つ古都として成長を続けています。



チチェスターキャンパスと、車で40分程度に位置するプリンスベリーキャンパスを持ちます。



1800年代に撮影されたマーケットクロスと大聖堂の写真と、現在の同じ場所の写真です。

200年経っても、ストリートは昔の面影を残しています。もちろん、ストリートの店は時代ごとに変っていますが、外壁などをできるかぎり残すようにする都市整備が、いまもチチェスターを雰囲気のある魅力のある都市としています。





Chichester Cathedral

街のシンボルとなっているチチェスター大聖堂は 11 世紀末から創建され、12 世紀末に現在の様式の原型が建てられました。南側の側廊の床の一部はガラスになっていて、床下に残されたローマ遺跡のモザイク床が見えるようになっています。

この大聖堂の魅力をさらに引き立たせているのが聖堂内外のモダンアートです。シャガール作成のステンドグラス、ジョンパイパーのタペストリーをはじめ絵画やオブジェが訪れる人々の目をひきます。平原綾香が「エブリデー♪」と歌っていた、「ジュピター」の原曲である組曲「惑星」を作曲したグスタフ・ホルストのお墓があります。大聖堂の中のティールームも人気があり、昼食を取る人たちににぎわっています。



大聖堂の建物から数メートル離れて鐘楼（ベルタワー）が独立して建てられています。このベルタワーから聞こえてくる鐘の音は、700 年の昔から続く悠久の時を感じさせます。



Chichester Cathedral and Modern Art

チチェスター大聖堂を特徴付けているものの一つは大聖堂を飾るモダンアートの数々です。これは 1950 年代に George Bell により発案され、Walter Hussey が deanship を務めた 1955 - 1977 年に実現されはじめます。有名なアーティストの作品がこの大聖堂を飾っています。

絵画：Hans Feibusch, Graham Sutherland, Patrick Proctor (1984).

タペストリー：John Piper, Ursula Benker

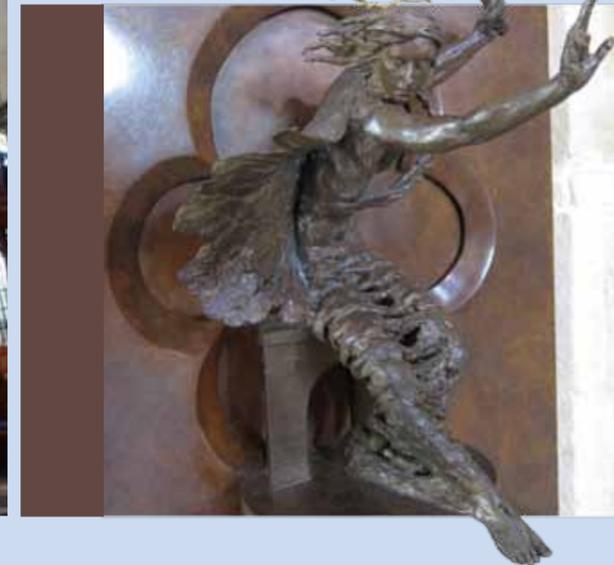
ステンドグラス：Marc Chagall

刺繍：Joan Freeman, Sylvia Green

鑄造品：Geoffrey Clarke, Pulpit, Lectern

石工：John Skelton Robert Potter

彫刻：John Skelton, Philip Jackson



The Buttery At The Crypt

12世紀に建てられたリブボルトを持つ建物は、チチェスター大聖堂の関係者により完全なリフォームを施され、素晴らしいレストランとして運営されています。



Cafe Rouge

1989年に Roger Myers と Karen Jones がオープンした小さなフレンチレストランが、現在はイギリスに 100 店舗を越す大きなチェーンに成長しました。雰囲気のあるインテリアが有名です。クラシックなフレンチ料理から、ステーキやチップスなどモダンブリティッシュテイストを取り入れ、リーズナブルな料金で提供しています。



イングランド南西部コーンウォール地方の名パイの専門店、ここの店のパイは定評があり、サクサクしたパイ生地「ショートクラスト・ペイストリー」一度は試していただきたい店です。

街角のカフェとティールーム

昔から紅茶にはうるさい英国人、あまりコーヒーの歴史は古くはないのですが、今では STARBUCKS、NERO、COSTA そして、Cafe Rouge などのチェーン店が出店し、どこでもおいしいコーヒーが飲めます。オススメはローカルなカフェやティールームで、お洒落な店内と、手作りのケーキやスコーンなど出してくれるところには何度でも行きたくくなります。チチェスターの街にもそんなカフェがあります。



Walk in Chichester

Laura Ashley

1953年ロンドンで始まったローラ アシュレイは、独特の美しい花柄プリントやフェミニンなシルエットで知られています。トラディショナルな基本に流行を取り入れたデザインがブランド本来の持つ上品さと合い、長期にわたって人気の店になっています。



City of flowers





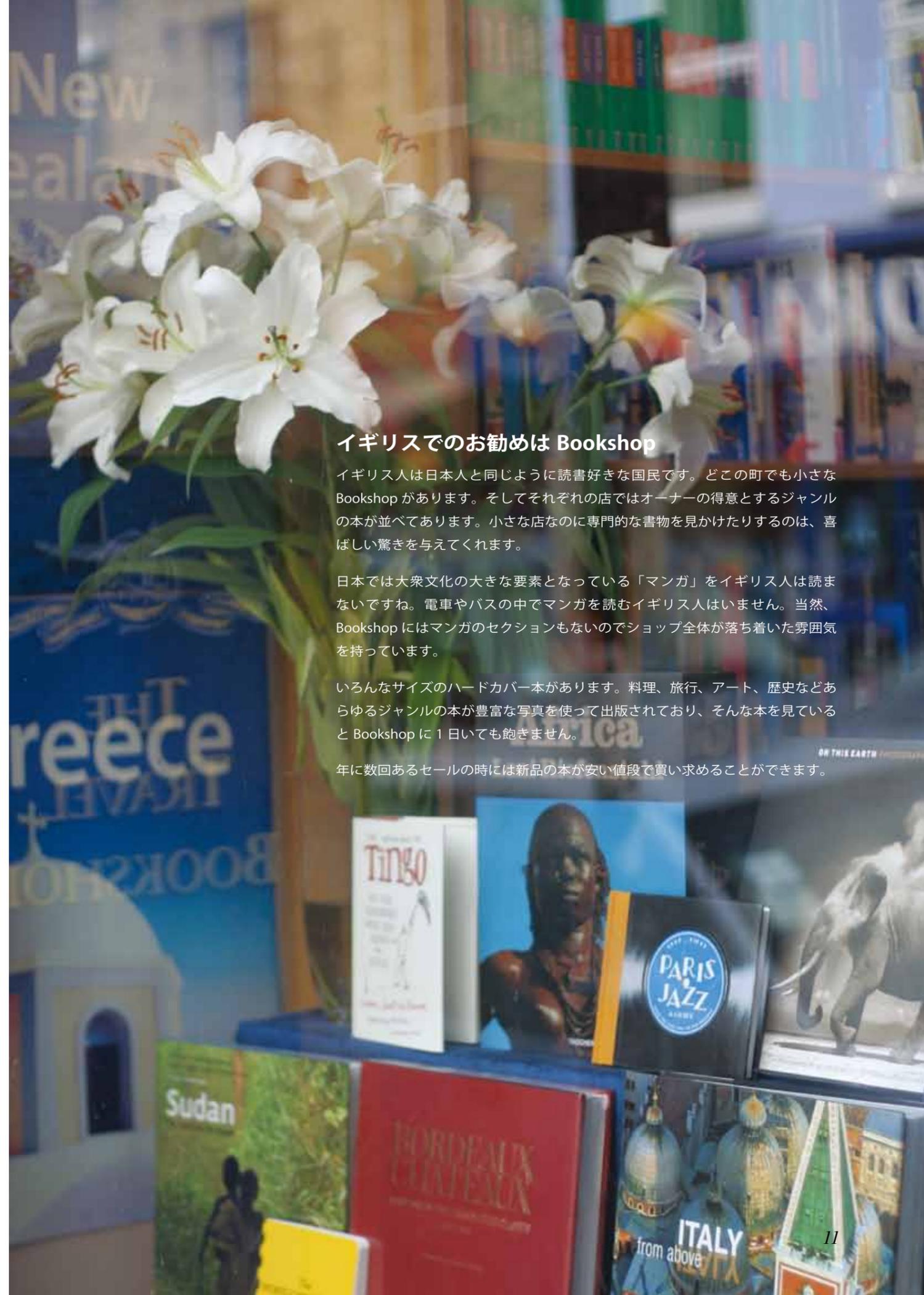
イギリス的 シンプル主義を楽しむ

留学する際のとても大事な要素が生活環境です。

例えば留学先で毎日の通学時に満員列車に乗っていくことはみなさんあまり予想しないことです。でもロンドンのような都会ではそんな光景が当たり前のです。これでは通学するだけで疲れます。

都会の暮らしは大勢の人々、車やバイクの行き交う騒音、携帯電話、電気店、派手な看板、化粧品店やレストランで溢れ「落ち着き」が感じられません。留学生活ではそういった日常のストレスから開放されたいものです。チチェスターはもっとシンプルな生活を提供します。この街は落ち着きがあり、緑が豊かです。

イギリスの料理は美味しくないと言われますよね。確かに、伝統的なイギリス料理は塩とコショウのみで味付けをする温野菜がよくできます。おおざっぱな料理方法だとずっと思っていました。しかし、このシンプルな料理の仕方がいま、日本でも、ヨーロッパでも健康的な料理方法としてブームになっているのです。そう考えると、いつもポテトばかり食べているような印象を受けるイギリスの人たちは結構健康的な食生活をしているのですね。



イギリスでのお勧めは Bookshop

イギリス人は日本人と同じように読書好きな国民です。どこの町でも小さな Bookshop があります。そしてそれぞれの店ではオーナーの得意とするジャンルの本が並べてあります。小さな店なのに専門的な書物を見かけたりするのは、喜ばしい驚きを与えてくれます。

日本では大衆文化の大きな要素となっている「マンガ」をイギリス人は読まないですね。電車やバスの中でマンガを読むイギリス人はいません。当然、Bookshop にはマンガのセクションもないのでショップ全体が落ち着いた雰囲気を持っています。

いろんなサイズのハードカバー本があります。料理、旅行、アート、歴史などあらゆるジャンルの本が豊富な写真を使って出版されており、そんな本を見ていると Bookshop に 1 日いても飽きません。

年に数回あるセールの際には新品の本が安い値段で買い求めることができます。

チチェスターカレッジは British Council が優秀な教育機関に贈る最優秀賞である Beacon Award を近年 2 年連続して受賞しました。受賞部門は International Student Support と International Marketing です。そして Queen's Anniversary Prize はその年に最も功績のあった大学とカレッジに贈られるものです。この Queen's Anniversary Prize の 2005 年受賞校にチチェスターカレッジが選ばれました。受賞校は教育機関としてのレベルが国際的に見ても高い位置にあることが必要です。同じ年に選ばれた教育機関は他に Oxford University、Cambridge University、York University などがあげられます。このような第三者機関から高い評価を受け続けることが大きな自信につながります。

最優秀賞受賞

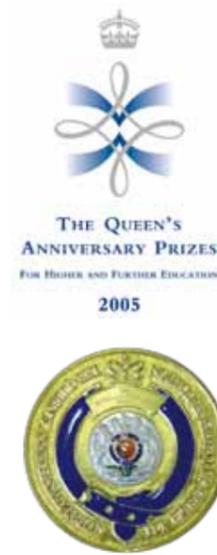


チチェスターカレッジは 1964 年に設立された公立カレッジです。継続教育を受け持ち、義務教育終了後の教育として専門的な知識をつける専門学校としての存在です。

また、一般成人を対象に地方自治体が、趣味・教養を中心とする豊富な教育をリーズナブルな料金で提供する生涯学習の場でもあります。

以前は高等教育を提供する大学とは授与する資格が異なっていたのですが、近年はカレッジでも大学の資格が取れるような流れになってきており、公立カレッジの役割はますます重要になっています。

チチェスターカレッジは外国人の為の英語教育に 1980 年代から力を入れており、英語教育と外国人学生の為のサポート体制は過去多くの賞を受賞し、この分野のリーダー的な存在となっています。



The Queen's Anniversary Prize

International Dimensions 2005

Queen's Anniversary Prize 賞はイギリス女王がその年の最も優れた大学やカレッジを表彰するものです。チチェスターカレッジ国際部による活動が地域の国際化に寄与したとして、2005 年にこの荣誉ある賞を受けました。



カレッジの国際部部長のピーターブラウン氏はカレッジを代表し、学長とともに、バッキンガム宮殿でエリザベス女王から表彰されました。

Beacon Award

British Council (ブリティッシュカウンシル) は政府認定団体として、イギリス国内そして海外で、イギリスの教育、文化を広くプロモーションするための専門機関です。この British Council が認定する、その年の最も優れた学校に授与される賞が Beacon Award です。10 年以上続くこの Beacon award が設立された 2 年目にチチェスターカレッジがこの賞を 2 年続けて受賞しました。このことは、国際部のサポートの質の高さが早くから評価を受けていたことを証明しています。

- 1999/2000 International Student Support 部門で受賞
- 2000/2001 International Marketing in 部門で受賞

Action for Business Colleges

チチェスターカレッジは国際部だけでなく、カレッジ自体としても、イギリスの主要なカレッジの一つです。

Action for Business College Accreditation は 政府と教育技能委員会 (Learning and Skills Council : LSC) が定めた認定資格で、地域の企業にすぐれた人材を提供するための、高いレベルの教育、指導レベルを持つカレッジが認定されるものとして設立されましたが、チチェスターは最も早くにこの認定を受けました。

また、チチェスターカレッジは LSC の Centre of Vocational Excellence' (CoVE) 認定を 6 部門で受けています。これは、カレッジがもつ部門 (コース) に認定されるもので、教育の質の高さと、幅広いレベルでの技術を提供できる部門が認定を受けるものです。



International Operations

国際部のスタッフの努力と、彼らのチームワークの結果が数多くの賞となりました。イギリス留学の教育機関として、チチェスターカレッジは最適な環境を備えています。



カレッジの設備

グローバル化が進む世界の中では、自分を見つめ、異文化を理解し、真の国際的視点を養うことが大切です。いろいろな国からの学生との交流を持つことが国際教養とコミュニケーション能力を高め、真に世界で活躍できる人材の育成を目指すことが出来ます。そして、キャンパスと街、学びと遊び、憩いとカルチャーが一体となった理想的な環境が、豊かな教養や人間性を育めます。

チチェスターカレッジは留学生の為に教育を行うコースを持つ草分け的な存在の公立カレッジです。そして留学するのに最適な環境と設備を提供します。

正面玄関のある校舎を含め、4つの校舎とスポーツセンター、テニスコート、学生寮、図書館などがカレッジを形成しています。チチェスター駅から徒歩およそ10分、市内の中心街からもおよそ10分の場所に位置します。



Open Access Centre

絶えず学生でにぎわっています。友人や家族からのメールチェックすることが可能です。基本的には英語仕様のパソコンなのですが、中には日本語を入力できるものもあるようで、そういったパソコンは日本人学生に隠れた人気です。



Burlington English Room

Burlington English (22 ページ参照) の教材を使って英語を自習できる教室を開放しています。



College Sports Centre

最新の機器や設備のジムを留学生も利用することが可能です。また、テニスコート、サッカーフィールドなどもあり、国際部でもサッカーチームを作ってインターナショナル親善サッカーの試合を行っています。



College Library

各コースの参考となる書物やマガジン、CDやDVDなどを利用できる図書館です。集中して勉強できるブースも設置されています。



College Refectory

近年リフォームされ、明るくなった学生食堂です。安く美味しい料理が頂けます。ここではイギリス人の学生も留学生も一同に集まります。ここで新しい友人を見つけるきっかけができればいいですね。



Beauty Salon

カレッジの Beauty コースに併設されているサロンでは、破格の料金で、ヘアカットやマッサージなどを受けることができます。



チチェスターカレッジでの滞在中、学生は滞在方法を選ぶことができます。大きく分けてカレッジの寮滞在、ホームステイ、または現地の民間のアパートを借りるなどの方法です。ここではカレッジの寮とホームステイについてご紹介します。

留学中の滞在方法

Westgate Halls of Residence

18歳以上の学生のためのカレッジのキャンパス寮です。イギリスでの留学の際に寮滞在ができる学校は少なく、中でもこれだけの設備のそろった寮を持つカレッジは珍しいです。各部屋はシングルルーム。トイレとシャワーが付いています。すべての部屋にテレビのアンテナとインターネット用のランが設置されています。各フロアにはキッチンがありますので自炊することも可能です。この寮は1年間以上滞在する学生に優先的に提供されます。人気のある寮ですから滞在を希望する方は余裕を持って早めに申し込みをすることが必要です。



カレッジのオンキャンパス寮です。部屋から校舎までは徒歩5分、食事も学生食堂で取ることができます。自炊を希望する方の為に、1フロアにミニキッチンが設置されていますので好きな料理を作ることができます。ランドリー施設も完備されています。



Stockbridge Halls of Residence



2012年9月からオープンする新しい寮が Stockbridge Halls of Residence です。この寮には 217 室のシングルルームがあり、チチェスターカレッジとチチェスター大学の学生が共同で使用します。寮からチチェスター駅まで徒歩およそ5分、カレッジまで徒歩15分程度です。この寮のすぐ横が Chichester Gate Leisure Park。最新のマルチスクリーンの映画館やレストラン、ハンバーガーショップ、スポーツセンターなどが入店し、この寮に滞在する学生にとって快適な生活環境となります。



Chichester Gate Leisure Park

Home stay accommodation

Accommodation services が紹介しているホームステイは担当のスタッフがしっかりと事前調査をしてホストファミリーとなるのにふさわしい家族のみをリストに載せています。一般にチチェスターのホストファミリーは親切で、いままでに何度か日本人の学生を受入れた経験を持つ家族が多いです。ロンドンなどの都会のように学校とホストファミリー宅が離れているようなこともありませんもしもファミリーとうまくいかないときにはすぐに滞在先を変更します。

ホームステイは食事つきのファミリーか、食事なしのファミリーから選ぶことができます。食事が付く場合には朝食と夕食が付きます。食事が付かない場合にはご自身で料理をするためにキッチンを利用することができます。これを self catering とよびます。self catering のホストファミリー宅は数があまり多くないので確実に提供できない場合もあります。



カレッジコース案内

English Course

English Language

週 15 時間のジェネラルコース

- General English 9:15 – 10:45, 11:00 – 12:30

Grammar, Vocabulary, Pronunciation, Reading, Writing, Speaking, Listening の各分野を総合的に伸ばすことを目的としています。短期から長期まで柔軟に参加できるようになっています。



English Plus

週 21-25 時間のエクストラコース

- General English 9:15 – 10:45, 11:00 – 12:30
- 21 時間 English Plus / 13:30 – 16:15 1 科目選択 (週 2 回)
- 25 時間 English Plus / 13:30 – 16:15 2 科目選択 (週 4 回)

さらに実践的に英語を学習するために午後から最大 2 科目のオプション科目を選ぶことができるコースが English Plus です。試験対策の英語学習や趣味の分野から英語を学ぶことができます。オプション科目は外国人学生によるクラスとなります。

選択できるオプション科目の例

University of Cambridge Exam Preparation (Intensive) PET, FCE, CAE, CPE, IELTS, TOEIC, Anglia Examinations

Preparation Becoming an English Teacher

~~Literature and Media Studies~~

Academic Foundation

~~ICT~~

English Cookery

~~Introduction to Marketing~~

Introduction to Travel & Tourism

Holistic Therapies

Introduction to Business English

Advanced Business

English Grammar

Pronunciation & Communication

Air Cabin Crew

Current Affairs

※これらのオプション科目は他の外国人学生と一緒に学習します。午後からのクラス科目はその時期により、変更されます。希望するコースがいつもあるとは限りません。

English Study Year

英語を専門分野から学ぶ

英語学校と公立カレッジの大きな違いは、カレッジではイギリス人を対象とした専門コースを開講しています。それを利用して効率よく有意義に英語を学ぶ方法があります。English Study Year は国際センターで英語を学び、イギリス人の学生と一緒に専門コースを受講するものです。もちろん英語主体のコースなので資格をとることは出来ませんが、自分に興味のある分野から英語に接していくことは早い上達につながります。

English Study Year は 9 月から始まる 1 学年のコースです。15 時間の英語授業と、最長 9 時間の専門コースのクラスに参加します。英語と、興味ある分野の知識や技術を身につけるユニークな 1 年間の留学になります。

選択できる専門コースの紹介

Academic courses:

Accounting, Biology, Chemistry, Computing, Design and Technology, Drama and Theatre Studies, English Language and Literature, Film Studies, French, Geography, History, Human Biology, Law, Mathematics, Media Studies, Music, Photography, Psychology, Science (in the Environment), Sociology, Statistics.

Vocational Courses:

Animal Management, Art and Design, Construction and Creative Crafts, Engineering, Equine Studies, Garden Design, Floristry and Horticulture, Hair and Beauty, Health Care and Social Sciences, Hospitality and Catering, Performing Arts, Sports and Leisure, Travel and Tourism.



Fulltime course

1960年代に設立されたときから、チチェスターカレッジは地域のイギリス人の継続教育の拠点として機能していました。継続教育とは、シンプルに説明すると義務教育を終了した16歳以上の人たちに、就職に向けてより実践的、専門的な技術や知識を提供することを目的とした教育です。その意味で、カレッジは日本の専門学校のような組織であると考えることができます。

将来の仕事のための基礎知識

イギリス人の学生と一緒に技術を身につける。たとえばヘアメイクや、アロマセラピーのような美容、セラピー系があります。また、イギリスの家具職人を目指す人たちと一緒に自分の技術を向上させたり、花産業コースではフラワーアレンジはもとより、ショップを運営するためのノウハウなども学びます。将来の仕事に直結する技術を身につけるのがフルタイムコースなのです。

好きな分野から英語を伸ばす

英語を上達させることを目的に留学するかたも、英語コースに参加するのではなく、フルタイムコースに参加するのもアイデアの一つです。好きな分野のコースだから「楽しみながら」英語を学べます。

Furniture Design and Making Level 3

様々な手工芸家具職人としての知識を実務的に学習します。内容は非常に具体的で、工房環境、電気機械操作、製品品質メンテナンス、仕上げ工程、工具知識などからなります。修了製作もカリキュラムの重要な課題となります。

イギリスの伝統的な手工芸家具について、職人レベルまでの知識、技能をつけるためのカリキュラムが組まれています。様々な素材に関する知識、工具、電気機械の使用技術、作品の総仕上げの工程などからなり、コース修了時には自らのデザインにてオリジナルの作品製作へ移ります。



EDEXCEL Extended Diploma in Horticulture Level 3

花産業は、多くの特別な儀式や行事は言うまでもなく、家庭や職場の環境における花や植物の鑑賞を楽しむ人々がますます増えている事によって大きく成長しています。

フローリストコースは1978年に設立され、プリンスベリー・キャンパスはフローリストの為に「センター・オブ・エクセレンス」の称号を、国で初めて認められた経験を持ち、1993年にはフローリストリー・トレーニング・カウンシルからも表彰されました。

Floristry Course

フラワーアレンジメントの発祥の地、英国で、センスとテクニックを学ぶフローリストリーコース。単にフラワーアレンジメントを学ぶだけではなく、実際にビジネスとして自立するために必要なマネージメントも学びます。「趣味として日常生活にお花を添えてたい」「本格的にフラワー業界で働いてみたい」など対応できるコースです。Chichester Collegeの1学年間の授業料はこの種類の留学費用としては格安です。毎年ロンドンで行われる有名なフラワーアレンジメントの祭典Chelsea Flower Showにも参加します。



Pop Music L3 Diploma

POPミュージックに関する知識、技能を高め、音楽業界などで活躍できる基礎能力をつけるためのコースです。カレッジに設置されたスタジオ設備にて実務的な学習が可能です。楽器の演奏から、各種音楽機器の操作など実務的な内容に加え、音楽に関する幅広い知識をつけるためのカリキュラムが組まれています。内容は舞台演劇、音楽言語、パフォーマンススタディー、訓練法、レコーディング技術、キーボードスキル、音楽出版など。

Complementary Therapies Techniques Level 3

セラピーを様々な角度からとらえ、実用技術をつけるコースです。社会人学生を対象とし、ホリスティックセラピー技術の獲得を目的とする各種ガイダンス、学習サポートにより実務レベルの技能の習得、及び、資格試験取得の為にカリキュラムが組み込まれています。コース修了により、ホリスティックセラピーの公的資格が与えられます。ボディーマッサージ技術、アロマセラピー技術、リフレクソロジー技術、セラピストカウンセリング技術等を習得します。このカレッジのセラピーコースは高い評価を受けています。



Edexcel Extended Diploma in Hospitality Supervision Level 3

ホテルや、レストランなどのサービス分野でのプロを目指す方々のためのコースです。ある程度のレストランやホテルなどでの経験がある人が原則としてその対象になります。カレッジ内に本格的なレストランをもち、地域の人が食べに来るレストランの調理からホームステイのサービスまで学生が運営しています。



紹介している写真はコースの学生が食材を実際に自分で採り、どのような調理の仕方をすれば美味しく食べることができるかを現場の専門家のアドバイスをもらっている場面です。カレッジのコースはどれも、本当に使える技術を磨くために実践的な学びをするという例です。



BURLINGTON ENGLISH®

Your personal online English tutor at Chichester College!

ユニークなオンライン英語学習コース



チチェスターカレッジに留学する学生は最新のインターネット技術を利用したオンライン英語研修コースを無料で受講できます。これはヨーロッパで有名な BURLINGTONENGLISH が提供するもので、専用の Webmic（マイクとスピーカーが一体になった装置で、ID認証も行います。）を使い、利用者の声を判断し、間違いを適切に正すことができる最新のオンラインコースです。

日本で販売されている数々の高額な英語教材のなかでも、BURLINGTONENGLISH レベルの良質なものはなかなか見当たりません。このコースを無料で利用できるのはチチェスターカレッジで留学する大きなメリットの一つです。そして、このコースは短期留学の方にも提供され、開始後12ヶ月続けて使い続けることができますので、帰国後も引き続き BURLINGTONENGLISH で学習することができるのです。

BURLINGTONENGLISHの特長は、自宅でも、寮でも、世界中どこにいてもパソコンとインターネットがつながる環境があれば、自由な時間に、自分のレベルに合った内容の英語学習を何度でも繰り返して行うことができます。

カレッジでのクラスレッスンと、BURLINGTONENGLISH のオンラインコースを用い、学習効率を相乗的に高めることができます。

BURLINGTONENGLISH のレベルは初心者から上級者にまで対応し、話す、聞く、読む、そして、書く力を利用者のペースに合わせて、自信をもって英語に接することができるように丁寧な工夫がされています。画面上の操作も簡単で、直感的に行うことができます。

BURLINGTONENGLISH では、さらに、キャリアの分野別に特化した英語を効率よく学ぶことができます。現在の分野としてはビジネス、サービス産業、看護、教育、旅行関連の職業キャリアに特化した英語を学ぶことができます。

BURLINGTONENGLISH に関する詳しい情報は www.BurlingtonEnglish.com をご覧ください。

Coming Soon

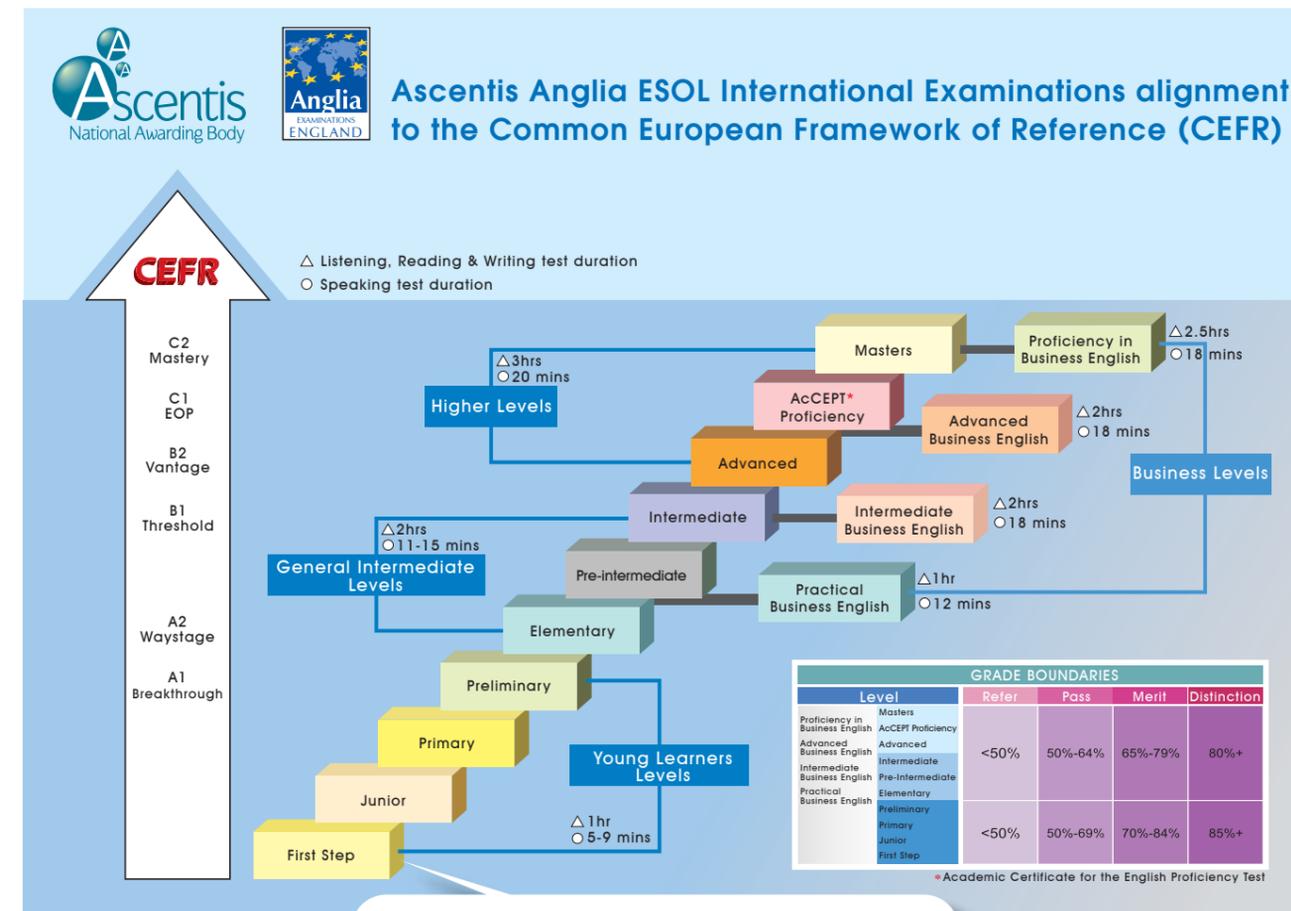
BurlingtonEnglish for Flight Attendants



BURLINGTON

Anglia Examinations

チチェスターカレッジが開発した英語レベルを判断するための英語能力判定テストです。IELTS、TOEFL、TOEIC などと同じように、英語を学ぶ外国人のレベルを正しく判定するために開発されました。読む、書く、話す、そして聴く力を総合的に判断することができます。チチェスターカレッジで開発されたこの Anglia Examinations はイギリスのみならず、アジア、アフリカ、中南米の国々で利用されています。もちろん、カレッジでの勉強中にこの Anglia Examinations のレベルテストを受験いただくことができます。



Anglia Examinations による英語のレベル分けは 10 段階まで細かく分けられています。それぞれのレベルが他の英語能力テストのどの位置に対応するかを説明しています。

イギリス大学でも正式採用

IELTS と同じように、イギリスの大学も、その入学に必要な英語レベルに関して、Anglia Examinations の判定結果を正式に認める大学が多くあります。

Bangor University, Bath Spa University, Birmingham City College, Brighton University, Canterbury Christ Church, University of Central Lancashire, Chichester University, Coventry University, Cumbria University, Edge Hill University, Glamorgan University, University of Leeds, Liverpool John Moores University, Middlesex University, Northumbria University, University of Plymouth, Portsmouth University, University of London Queen Mary, Salford University, Staffordshire University, University of Stirling, Sunderland University, University of Surrey, University of Wolverhampton

留学生活、誰だ って住み良い街 で暮らしたいで すよね。

慣れない外国で家族や友人と離れ住む場所は治安が良く、人々が優しく、街もにぎやかなところが理想です。

チチェスターは緑の美しい、イングランド地方南部の West Sussex 地方の州都です。その歴史は、ローマ時代までさかのぼり、ロマネスク調の石畳でできた十字路が市内中心部から放射線状に広がり、美しい街並みを残します。治安も良く、この地域は英語の発音がきれいな地域でもあるので留学生には最適な生活環境といえるでしょう。郊外にはのどかな田園風景が広がっています。

チチェスターはこの地域の観光地としても知られています。目抜き通りから一歩路地に入ると洒落たティールームがあったりします。サンルームからの光が満ち溢れる店内は観光客やビジネスマン、そして買い物に疲れた人たちに静かで優雅な一時を提供する絶好の場所となっています。

市内から車でおよそ 15 分の場所には Open Air Museum があります。この場所はイングランド地方の各地から歴史的に価値のある屋敷を広い敷地内に一同に集めたオープンエアの博物館なのです。ちょうどそれは岐阜県の白川郷の合掌造りの集落と共通するものを感じます。今ではなかなか見れなくなったイギリスの伝統的な家の作りなどを見ることの出来る貴重な資料となります。

いろんな魅力が詰まったチチェスターです。是非この町に住んでみてください。イギリスの良さを実感していただけます。

MOSAIC (Fishbourne) ローマ時代のモザイク遺跡



Arundel Castle



Bosham



Stonehenge

周辺のみどころ

時代史跡

Fishbourne

フィッシュボーンはチチェスターから 3.5km にあるローマ宮殿の遺跡で知られる町です。

およそ 2000 年前にローマの人々がここに移り住み、宮殿を建造しました。残念ながらその宮殿は 3 世紀初期に火災で焼失しましたが、残った当時のモザイクなど保護され、博物館で見ることができます。

Arundel

アランデルは、お城と大聖堂で有名な歴史漂う小さな町で、ウエストサセックス州の人気の観光地。町を囲むように、ゆったりと流れるアラン川のほとりや、アランデル城の庭園を散歩するだけで癒されます。アンティークや、おいしいスコーンを売っている店など 1 日楽しめる町です。

Bosham

ボシャムはチチェスターからほんの 5km にある海沿いの小さな古い村です。この町の歴史はローマ時代にまでさかのぼります。チチェスターハーバーから見るこの村の情景あふれる景色はきっと訪れるひとの心に長く残るものになります。チチェスターハーバーは野鳥の保護区として重要な役割を果たしています。

Stonehenge

チチェスターから車でおよそ 1 時間 20 分程度、ソールズベリーの北、およそ 13km に突如出現するこの直立巨石は世界で最も有名な先史時代の遺跡とされています。考古学者はこの直立巨石が紀元前 2500 年から紀元前 2000 年の間に立てられたと考えています。

遺跡の目的については、太陽崇拝の祭祀場、古代の天文台、ケルト民族の礼拝堂など、さまざまな説が唱えられていますが、未だ結論はでていません。

London

チチェスターから電車でおよそ 1 時間 40 分でイギリスの首都ロンドンに到着します。日帰りが十分可能です。普段は人々が優しい小さな町に住み、必要な時には都会にすぐに行ける距離にある、これがチチェスターの魅力の一つです。

英国留学のススメ

イギリスの学生は義務教育が終了後の進路として、継続教育もしくは高等教育を選びます。それぞれの教育機関は専門的な技術の習得や、高いレベルの学問の研究など、各学生の希望に合った教育内容の授業を提供します。私が勤めるイギリスの公立チチェスターカレッジは現在およそ20,000名の人たちが学ぶ地域でも重要な教育機関となっています。職業教育、成人教育など、フルタイム制やパートタイム制による義務教育後の多種多様な教育・訓練の機会を提供する教育を継続教育（further education）と呼びます。チチェスターカレッジではこの継続教育を行います。

チチェスターカレッジは外国からの留学生の方々にも十分な学習の機会を提供できるように努力しています。私がここで仕事を始めた1984年から国際部（インターナショナルセンター）でおよそ15,000名の留学生の方々のお世話をしました。そして、カレッジのスタッフ自身も多くの海外からの友人を作り、国際文化を学ぶことが出来ました。全く違う文化圏からくる学生は最初は戸惑いますが、すぐにイギリスに慣れ、ほんの半年もするとしっかりと自信を持ってイギリスでの生活を送っています。

継続ということは「ずっと」ということです。誰にでも、いくつになっても学ぶ機会を提供するのが私たちチチェスターカレッジの存在理由です。私たちのカレッジには実際に技術を取得するための設備が多くあります、例えばカレッジにある保育園はスタッフや学生の子供を預かるだけでなく、チチェスターカレッジの保育科の学生の実習の場として利用されています。



スーパーバイザーの先生による指導の下、実践に即した経験を積むことができます。同じように、カレッジ内にレストランや旅行エージェンがあり、そこではカレッジの学生が働いています。実践を体験することで卒業後すぐに社会で通用するためのチカラをつけること。そのお手伝いを私たちが担います。

チチェスターは住みやすい町です。日本の都会のように何でもそろっているわけではありませんが、充実した留学生活を送るために落ち着いた環境を持ち、親しみやすい人々がいます。ロンドンまで電車で2時間もかかりませんから必要なときにはいつでも遊びにいけます。

私は日本の都会の充実した都市機能と、田舎のすばらしい伝統的な景色、そしてやさしい人たちが大好きです。毎年日本を訪問する間に日本の大ファンになりました。その日本から来られる留学生の方々が同じような気持ちで滞在できるようにお迎えします。

チチェスターカレッジ国際部部长

Peter Brown

Peter Brown
Director of International Operations

この街の美しい文化を楽しんで

Tina Preston

Tinaさんはこのカレッジの国際部で勤続18年です。この国際部を育ててきたスタッフの一人です。カレッジに秘書コースを学びに来たことがここで職を得るきっかけになりました。いまは短期でプログラムに参加する学生の皆さんのお世話をしています。

Tinaさんはずっとこの地域で暮らしてきました。チチェスターでは芸術やイベントが盛んところが彼女のお気に入りです。Chichester Festivities（7月）は有名なイベントです。有名なミュージシャンやセレブがこの街で活動します。Festival of speedはクラシックな衣装を身にまといクラシックカーで優雅に走るイベントです。古き良き時代を見せてくれるユニークなイベントなので是非楽しみにしてください。

Tinaさん以外にも国際部長のPeterさんをはじめ長年国際部で勤めているスタッフが大勢います。英語教授のチームリーダーも20年以上このカレッジで教鞭をとっています。蓄積された経験と信頼できるチームワークがあるから最高の教育とサポートを提供できます。同時に海外からの学生のみなさんと出会い、皆さんのお世話をすることでスタッフも国際交流を体験でき、それが楽しみとなっています。

20年前は1年間に50名の留学生だったのが現在はおよそ900名に増えました。規模は確実に大きくなりましたがこの国際部で働く情熱は最初の頃と少しも変わりません。

カレッジのスタッフが学生のみなさんをお願いしたいこと。それはもし、なにかあればすぐに国際部スタッフに相談していただきたいことです。一人悩んでいても、日本の家族や友人に相談しても解決できないことが多くあります。国際部のスタッフは皆さんが留学生生活を安心してできるようにするために努力することを惜しみません。



この街に住み、 この街で学ぶ

日本人カウンセラー

Hideko Martin



英子さんは在英30年です。世界中を一人旅しながらイギリスに着き、英語の勉強をしていたときにご主人との出会いがあり、その後ずっとイギリスに住んでいます。英子さんがはじめてイギリスに来たときの為替レートは、1ポンドがおよそ800円でした。今の6倍ポンドが高かったんですね。現在はこのチチェスターカレッジに留学する日本人学生のためのカウンセラーとして大事なお母さん役を務めています。

留学当初は誰でもなれない生活環境や人間関係でストレスも感じるでしょう。そういったときに相談できる存在として信頼できる方です。英子さんは皆さんの連絡先を携帯し、何か困ったことが起こったときにはいつでも相談できる用意をしています。そんなしっかりものカウンセラーがいることもチチェスターカレッジの良い特徴です。



セラピストをめざして

Satoko Nagata (Holistic Therapy)

智子さんは日本でアロマセラピーに魅せられ、日本の有名アロマセラピースクールを卒業した後にさらにその技術を広げるためにこのチチェスターカレッジに入学しました。イギリス留学準備にあたり、おおきな助けになったのがイギリス留学エージェントです。そのエージェントのカウンセラーがプロのアロマセラピストだったのです。コースの内容をいろいろ確かめ、このカレッジに決めました。

ホリスティックとは、クライアントの身体と精神を総合的にとらえ、本来持っている自然治癒力を高め、心身の健康を取り戻す助けとなるさまざまなセラピーの総称で、代替医療としても幅広く活用されています。週に3日間アロマセラピー、リフレクソロジー、そしてインディアンヘッドマッサージのトレーニングを行っています。1月からは他にも Reiki や Thai massage などのワークショップにも参加できます。午前中は実技、午後からは理論を学習します。このコースの留学生は少人数で、ほとんどがイギリス人の学生です。解剖生理学などについて行くのが大変な授業もありますが、先生やイギリス人クラスメイトも気を配ってくれるので頑張ることができました。ホリスティックセラピーのコースとは別に週に2日間は国際部で英語を勉強することができます。

智子さんは寮に滞在しました。オンキャンパスなので自分の部屋からクラスルームまで徒歩5分です。寮にはキッチンがあり自炊も出来ます。冷蔵庫が小さく、冷凍庫がないので何でも好きに出来るわけではありませんが、自分の部屋にトイレとシャワーが付いているのでプライバシーも含めて快適に過ごせました。もちろん時には授業や生活からくるストレスもあります。いつも順調な時ばかりではありません。でも、それが海外での生活であり、留学だと前向きにがんばっていただきました。翌年6月末に無事ディプロマを取得されました。

技術をさらに高め、セラピストとしても人間的にも成長し、将来は自分のサロンを持ちたいのが智子さんの夢です。

※記事はインタビュー当時のコース内容を記載しています。コースの内容は年により変更されることがあります。御了承ください。



前向き姿勢で自分のキャリアを積む

Rena Kato

(Complementary Therapy)

加藤さんが、セラピーの分野に興味を持つようになったきっかけは、大学の時の指圧のアルバイトでした。ハードなアルバイトでしたが、2年間の仕事の中で培った「人を癒すことができる有意義なセラピー」をしっかりとした資格で裏付けたいと考えました。

大学では環境を学び、卒業後は、IT会社のシステムエンジニアとして働きました。海外でのアロマセラピー習得は、大きな方向転換でしたが、そのことがかえって彼女の目的意識を強く高めました。それまで特に勉強しなかった英語ですが、通勤途中の電車の中で集中して勉強し、一回目のIELTS試験でカレッジ入学基準のIELTS5.0を獲得しました。

現在、月曜日と火曜日は英語を学び、水、木、金曜日はセラピー関連の授業を週17時間程受けています。

主に勉強しているのはアロマセラピーとリフレクソロジーです。大学時代に実践で磨いた指圧のマッサージとはその考え方とアプローチの仕方が全く異なることは、新しいことを学びにきた加藤さんにとっては良い発見となりました。

入学して初めの頃は英語に悩まされました。海外での人間関係など難しい部分もありました。でも加藤さんの持ち前の前向きな姿勢のおかげで、今では良い友人を沢山作りました。

カレッジに入学する前にロンドンの語学学校で勉強しましたが、そのときのホームステイの家族とは今でも良い関係を続けています。

加藤さんは日本に住んでいるときから行っていたピアノの弾き語りをチチェスターでも続けています。まだ英語がそれほどうまくなかったのに、地元のバブに飛び入りで歌わせてほしいと頼みました。

現在チチェスター市内の2つのパブレストランで歌っています。そんな前向きな姿勢で暮らしているからこそ、良き友人が集まって来るのでしょう。カレッジで知り合った友人たちが毎回加藤さんの歌を聴きにきてくれるそうです。

加藤さんの夢はこの留学で磨いたアロマセラピーの資格で、ご自身のサロンを開くことです。セラピーの一環として、歌や、書道など他分野からのアプローチもできるようなお店を作ることが彼女の理想です。

大きな夢に向かって頑張ってくださいね。





大学のための架け橋です

Michiko Shimizu

(University of Chichester International Business Foundation Programme)

清水美智子さんが参加しているのはファンデーションコースと呼ばれています。このコースは、チチェスター大学のビジネス学科への正規留学を目的にした1学年間の基礎コースで、9月から6月末まで開講されます。

コース内容は大学で学べる為の英語力を身につけること。そして、ビジネス学科に必要な基礎知識を学ぶことです。イギリス大学は1年目から専門的な勉強をしますから、このファンデーションコースは重要な基礎知識を学ぶ機会となります。

日本人の場合、高校を卒業しただけではイギリス大学に入学することができず、このファンデーションコースがイギリス大学への架け橋となります。

1クラスの人数はおよそ15名です。先生と学生の距離も近く、清水さんもいつも先生から励ましの言葉を掛けてもらっています。

清水さんは近い将来、建築関係の会社を経営するする父親を助ける為に、このビジネスコースを選択することを決めました。高校のときからIELTS対策の勉強をして、卒業とほぼ同時にこのコースに必要なIELTS5.0レベルの英語力を身につけました。

清水さんの授業は現在およそ週20時間程度なのですが、それ以外の時間もオープンアクセスセンターで予習と復習、そして課題に取り組んでいます。

現在彼女が取り組んでいる課題は6つで、Business environment, Business Resources, Marketing, Market research, Accounting, そして Business Communication です。このなかで、2つの科目はレポートとは別に、プレゼンテーションもあるので、かなりハードな毎日です。

授業はいつもハイレベルなので、ついて行くのが大変です。でも、イギリスで大学を目指すことの意義を毎日感じています。ハードな分だけ、将来の目標も高く持つことができます。

このコースはもともと、チチェスター大学への正規留学のために運営されているものなのですが、もちろん他の大学に願書を出すことも可能です。清水さんも他の大学へ願書をだし、すでに、サリー、ケント、エセックスなど、各地の有名な大学からの入学許可を受けています。チチェスター大学を合わせ、どこの大学に進学するか、悩みどころです。

海外からきている他の留学生の考えや目標を聞いているうちに、清水さんの目標も高くなり、大学卒業後には、大学院のマスターコースに進むことも視野に入れるようになりました。

毎日勉強で忙しい清水さんですが、休みの日には友人とパーティやショッピングも楽しんでいます。主に友人はこのコースに参加しているいろんな国からの学生で、ロシア、カタール、スペイン、香港、サウジアラビア、中国など、友人の輪は、彼女の夢と同じく、どんどん広がっています。

※記事はインタビュー当時のコース内容を記載しています。コースの内容は年により変更されることがあります。御了承ください。



イギリスで留学するために必要な英語の基準

イギリスの入国管理局 (UK Border Agency) は毎年のように留学するための必要事項を見直ししています。ここでは、現時点での案内となりますので将来変わる可能性もあります。ご了承ください。

ビザ (VISA) は査証と訳し、その国に滞在するために必要なステータスです。必要な要件を満たした場合に、UK Border Agency が許可し、その証明としてパスポートにスタンプやラベルを貼ったりします。このビザは、イギリスに渡航する前に日本で申請するものと、短期の場合には事前申請は必要無いものがあります。

Student visitor visa 6ヶ月までの英語コース

カレッジでの6ヶ月までの期間をカバーできるもので、英語の学習のみ可能なビザです。このビザを取得するために、UK Border Agency から課せられた英語のレベルは必要ありませんが、カレッジからは事前の英語テストを御願ひする場合があります。

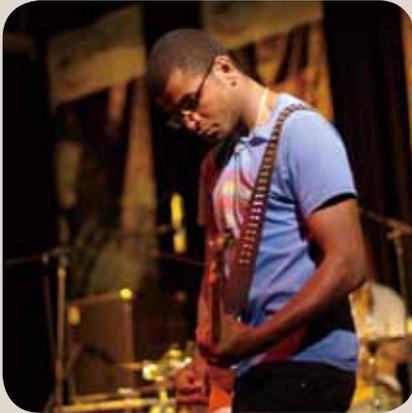
日本国籍の場合、6ヶ月までなら、カレッジからのレターをもって渡航し、イギリスの空港でそのレターを見せることによりこのビザを取得することができます。渡航前の事前申請の必要はありません。

Extended student visitor 11ヶ月までの英語コース

カレッジの1学年の期間 (9月から翌年6月末まで) をカバーできるもので、英語の学習のみ可能なビザです。このビザを取得するために、UK Border Agency から課せられた英語のレベルは必要ありませんが、カレッジからは事前の英語テストを御願ひする場合があります。このビザを取得するためには渡航前に日本でビザの申請をすることが必要です。

Tier 4 (学生ビザ)

英語の勉強でも11ヶ月を超えるものや、期間を問わず、イギリス人と一緒に勉強するコースに参加する場合には、学生ビザを取得します。この場合英語のレベルが国から課せられることとなります。UK Border Agency から要求される英語レベルはIELTS4.5ですが、コースによってはカレッジが課す英語レベルが必要となります。学生ビザを取るかたは日本でIELTSやTOEFLの試験を受け、コース参加に必要な基準を満たすことを証明することが必要です。このビザを取得するためには渡航前の申請が必要です。



Chichester
college

The International Centre, Chichester College

Westgate Fields, Chichester, West Sussex, PO19 1SB England

Tel: +44 (0)1243 533899 Fax: +44 (0)1243 775783

email: intunit@chichester.ac.uk

Website: www.chichester.ac.uk

